

(様式1)

校種	小・中 どちらかに○	学校番号	56	学校名	宇都宮市立新田小学校
----	---------------	------	----	-----	------------

令和3年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重の精神を基盤とする、知・徳・体の調和のとれた、心身ともに健康で人間力豊かな児童の育成

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

合言葉【仲よく 強く たくましく】

- ・よく考える子ども：規範意識をもち、自ら考え、進んで学べる子ども
- ・思いやりのある子ども：自他のよさに気付き、共に伸びようとする子ども
- ・体力のある子ども：心身ともに健康で気力や体力に満ちた子ども
- ・はたらく子ども：目標の実現に向けて粘り強く取り組める子ども

2 学校経営の理念

学校教育目標の具現化を目指して全教職員が一丸となり、保護者・地域住民と一体となって連携・協働し、活気と創意に満ちた教育活動の展開を通して、目指す学校像に迫る。

《目指す学校像》

- 子どもたちが安心して生き生きと自己発揮できる「どの子どもも輝く学校」
- 教職員が互いに学び合い磨き合う「働きがいのある学校」
- 保護者にとって「通わせて安心な学校」
- 地域住民と連携・協働する「地域とともにある学校」

3 学校経営の方針

(1) 子どもたちが安心して自己発揮できる「どの子どもも輝く学校」

- ・互いの違いやよさを認め合うきめ細かな支援を行い、すべての児童にとって居がい感のもてる温かい雰囲気での学級経営を推進する。
- ・一人一人の内面理解に努め、安心して生活できるよう一人一人を大切にすること。
- ・道徳科を核にした心の教育や児童への認め励ます教育により、思いやり、自己肯定感・自己有用感を高める。
- ・「宇都宮モデル」を活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業を展開し、学級を学びに向かう集団に成長させていく。

(2) 教職員が互いに学び合い磨き合う「働きがいのある学校」づくり

- ・創意ある提案や意見交換により組織力を高め、学校経営への参画意識を高める。
- ・協働遂行力・授業力・学級経営力・特別支援教育力の4つの教師力を身に付けるため、教職員の資質・能力向上策を推進する。
- ・県の「学校における働き方改革推進プラン」及び市の「児童と向き合う時間の充実のた

めのアクションプラン」に基づき、「勤務時間を意識した働き方」「校内業務の効率化」の推進を図る。

(3) 保護者にとって、「通わせて安心な学校」づくり

- ・児童が安心・安全で美しく潤いのある環境の中で生活できるよう、校舎等の点検・整備や学びを高める環境の整備・活用に努める。
- ・児童のよさや学校・学級情報を積極的に発信したり、きめ細かで誠意のある対応を心がけたりして、保護者との共通理解を図る。
- ・家庭や地域の声を収集し、問題点を速やかに工夫・改善するなど誠意ある対応をする。
- ・教科体育の充実、外遊びの奨励等を通して体力の増進を図るとともに、健康を維持・管理する能力を育成する。
- ・交通安全教室や避難訓練などを通して、児童自らが危険を予測し回避する行動力を身に付ける指導を強化する。

(4) 地域住民と連携・協働する「地域とともにある学校」

- ・地域の教育資源と地域人材のさらなる開発と活用の工夫を図る。
- ・学校支援ボランティアや下校ボランティアなど、高齢者をはじめ学校を支えてくれる方々への感謝の心を育むよう努める。
- ・地域学校園や児童会の取り組み、及び家庭・地域との連携を生かした「あいさつ運動」を通して、規範意識を高める取り組みを推進する。
- ・学校だよりやHP等による情報発信を積極的に推進する。

[若松原地域学校園教育ビジョン]

「つなげよう学び 鍛えよう心と体 共にのびよう WGS 学校園」

4 教育課程編成の方針

- (1) 関係法令、県教育振興基本計画 2025、市学校教育スタンダードや指導の重点などを踏まえ、学校経営方針に基づき、知・徳・体の調和のとれた教育活動を展開し、教育目標の達成を期する。
- (2) 「社会に開かれた教育課程」の視点に立ち、社会の変化に向き合い適切に対応していくため、学校教育を通して育むべき資質・能力を明確にし、教科等の関連や地域の教育資源や人材活用を図り、適切かつ、一貫性のある教育過程の編成に努める。
- (3) うつのみやマネジメントシステムによる評価等を踏まえ、実態に即した創意ある教育課程の編成につなげる。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

個と集団を育てる教育の実践，組織力・同僚性による効率的な職務の遂行，家庭・地域と一体となった取組の推進などによる，活気と創意に満ちた信頼される学校づくり

○「認めて伸ばす教育」の実践

○あいさつの響く学校づくりの推進

・楽しい授業と居心地のよい温かな学級集団づくりの推進

- ・読書活動の推進
- ・勤務時間を意識した効率的な業務の遂行
- ・子どもの姿を伝える情報発信

(2) 学習指導

「自ら学びに向かおうとする児童の育成」 ～思いを伝え合い高め合う授業展開の工夫～

- 望ましい学習態度，習慣の定着 ○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ・読解力・表現力の育成 ○読書活動の推進 ○家庭学習の習慣化

(3) 児童生徒指導

「自他への思いやりの心を持ち，豊かな人間関係を築くことができる児童の育成」

～学年・学級経営の充実を基盤として～

- 礼儀を意識したあいさつの定着，規範意識の醸成
- ・自己肯定感・自己有用感を育む学級経営の工夫
- ・主体性・思いやりを育むための縦割り班活動や異学年交流の充実
- ・奉仕の心を持ち，自ら進んで仕事に取り組む態度の育成

(4) 健康（体力・保健・食・安全）

「自らの健康に関心を持ち，望ましい生活習慣を身に付けようとする児童の育成

～生活習慣の改善を目指した保健指導の取組を中心として～

- 健康の保持増進 ○運動の日常化 ○食に関する指導の充実
- ・判断力・行動力を育む安全教育 ○家庭・地域との連携協力

6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ① 相手とコミュニケーションを図り，自分でよく考えることができる力
- ③ 自他のよさに気付き，思いやりの心を持って接することができる実践力
- ② 地域や集団の一員として，決まりを守り，場に応じた対応ができる判断力

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

- ・地域学校園等との交流を通じた児童主体のあいさつ運動の推進
- ◇縦割り班活動・異学年による交流活動の推進
- ・立腰教育を取り入れた気力・体力を育む教育活動の充実
- ・読む活動・書く活動の積極的導入，伝え合う場の工夫による学びを楽しむ子どもの育成
- ◇読書活動の推進等を通じた読解力の育成

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

①基本的考え

学校・保護者・地域が目標や方針を共有し協力・協働して子どもを育てる意識を高め

るため、新田小学校地域協議会の学校運営への参画を促進し、地域の人的・物的資源を有効に活用した教育活動の充実に努める。

②主な取組

- ・地域協議会を通して、児童の実態・課題、指導の対策や方策の共有
- ・「まちづくり協議会イベントへの参加・協力」等、地域の行事への参画
- ・地域の教育資源を有効に活用した体験活動の実施
- ・学習支援ボランティアの積極的活用
- ・学校だより、ホームページ等を活用し、地域への積極的な発信

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

若松原地域学校園教育ビジョン「つなげよう学び 鍛えよう心と体 共にのびよう WGS学校園」の具現化を図るため、小学校入学から中学校卒業・進路の実現までの9年間の学校教育を教職員が連携をして、継続的に実践する。

②主な取組

- ・児童生徒が意欲的に取り組む授業づくりを通じた学力向上のための活動の推進。
- ・集団や社会の一員としての自覚をもたせるための交流ボランティア。
- ・健康・体力・食育に関する、地域学校園の児童生徒の実態把握と体力向上のための活動。
- ・児童生徒、教職員の交流に関する企画についての調整、及び地域学校園内の学校事務や食育、学校図書館に係る教職員の交流の促進。
- ・GIGAスクール構想やICT支援員の効果的な活用についての情報交換

(3) 不登校対策

①基本的考え

自己肯定感を高める指導と学級の支持的風土づくりの推進を基本に、早期発見・早期対応、緊密な家庭との連携体制の確立、チームでの対応により、児童と保護者に寄り添った指導を徹底する。

②主な取組

- ・楽しい学校、分かる授業、居心地のよい温かな学級づくりの推進
- ・教育相談やQ-U検査の結果の活用などに基づく、未然防止と早期発見
- ・学校・学年だより、学級懇談会等を活用し、学校の取組や考えについての発信
- ・不登校対策委員会による、適切な個別の支援計画の策定と組織的な対応
- ・「1日休んだら電話、2日続けて休んだら家庭訪問」の徹底。

(4) GIGAスクール構想

①基本的な考え

すべての児童に対して個別最適な学びと宇都宮モデルによる主体的・対話的で深い学びを実現するために、学校教育情報セキュリティポリシーに基づき、全教職員共通理解の下、1人1台端末環境を生かした教育活動を推進する。

②主な取組

- ・端末の日常的な活用に向け、活用ルールの方策など校内体制を整備

- ・学習に効果的に活用する方法等に関する情報収集及び研修の充実
- ・情報モラルに関する指導の充実
- ・ICT支援員の効果的な活用について地域学校園で情報交換

(5) 宇都宮学

①基本的な考え

児童が郷土（宇都宮）の歴史や伝統文化，産業などについて理解し，郷土への愛情と誇りをもてるよう宇都宮学を推進する。

②主な取組

- ・地域の町探検・幼小交流等を通して，人・もの・ことの発見を校内外に発信
- ・宇都宮市の伝統文化等を体験できる学習の時間の確保
- ・郷土資料を活用し，郷土愛を育む道德の時間の工夫
- ・3・4年社会科学習，5・6年総合的な学習の時間における効果的な地域人材活用
- ・「宇都宮のよさ」を伝え合う児童主体の活動実施，家庭等への情報発信
- ・若松原地域学校園内における学習内容の共有化に向けた研修実施